



学校通信

平成31・令和元年度 第2号
令和 元年 5月 8日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

「振り返りが、次につながる」

校長 岡部 良美

新しい学年が始まり、1ヶ月が進みました。各教室に行くと、3年生以上は全ての学級で、一人ひとりの子供の1年間や1学期の目標が自己紹介とともに掲示されています。毎年、教室に行きじっくりと読むようにしています。子供一人ひとりが自分をどう捉え、どんな具体的な取組を行い、どんな姿になりたいかが書かれています。読んでいて楽しみであり、とても参考になります。いくつか紹介します。

- 学習がはじまってすこしたつと、しせいがまがっちゃうから、なるべくずっとよいしせいになるようにする。(3年生)
 - 算数がにが手なので、ふく習を1学期までにしてがんばりたい。(4年生)
 - めりはりとチャイム着席とクラスのチームワークと、悪いことをした人にはすぐに注意することを心がける。(5年生)
 - 授業の内容をノートに書き、理解する。○もっと読書量を増やす。(6年生)
- ☆6年教室には、最高学年としての決意が表明された一人ひとりの文章が掲示されています。さすが6年生。読み応えがあります。

目標はその実現に向けて、具体的に取組み、達成させるものです。その過程で大切にしたいことのひとつが、『振り返り』です。『振り返り』により今の自分の姿や状況を知ることができ、次の一手や進める方向を考えることにつながります。前向きな思考や行動であると考えます。子供が立てた目標に関心を持ち、子供たちに振り返りの機会をつくる、振り返る力をつけていくことが大人には求められます。

「あなたの目標は、○○だったよね。もう忘れたの。」

「あなたの目標は○○なのに、ぜんぜん守れてないじゃない。」

など、つい子供たちに否定的な言葉をかけていませんか。それよりも、

「○○という目標、とてもあなたらしいね。進み具合はどう。」

「○○という目標に向けて、いつも頑張っているね。感心するよ。」

のように、子供の取組について、楽しみにしていることを伝える、行動を承認する、結果を承認するという肯定的・共感的な言葉が子供の振り返りを促します。そして、子供は誇りと自信をもって次に進んでいきます。

さて開三小では、学習活動の中でも『振り返り』を重視しています。授業過程5則を基本に1時間の学習を進めています。①「1時間の学習のめあてや課題を知る。」②「自分の力で解決する。」③「自分の考えをもって、友達と意見交換や議論をして学びを深める。」④⑤「子供一人ひとりがめあてや課題にそって自分事として振り返る。」「学習をまとめる。」です。『振り返り』により、この学習で自分ができたことや分かったこと、または理解できなかったことを知るとともに、新たな発見や新たな発想、学びをつかった創造的な思考につながることを期待できます。

5月10日(金)は学校公開です。ぜひ、子供たちの目標をご覧いただくとともに、振り返りにつながる子供たちへの声かけをご家庭や地域でもお願いいたします。令和の時代、心を寄せ合い、社会の創り手となる子供たちを育てていきましょう。

